

玉ふいにふく後氏はもう生合ふ押小頂にあらうく眼の目  
 弱く玉目も利のくあらう後氏にあらう

窮初の事 眉根あどくどく 鼻穴 廣くいせ せき 大小 平く 後  
 既つ 身う 生食の 毛 長く 後 貝あくく 服うく 一の 毛 廣く け 顔の  
 驚 物 成 融 控 句う 房に ちう ちう

右拾部類之六類立ちて是れ物之通也之六類立ちて

鷹也  
赤鵲鵲蛇也

雄飛八斗驚千石

荏新や人驚ましこ胡也る

劉子  
顔  
古  
哲  
見  
初  
子  
小  
こ  
の  
免  
免